



はやま



平成24年(2012年)

9月号

No.510

葉山で「学ぶ」を考える

- 特集1 HAYAMA海の学校 2
- 特集2 町長と語る「今、葉山の教育は？」 4
- 特集3 青少年会館ってどんなところ？ 6

主な内容

- 地域包括支援センターをご存じですか？ 8
- でんごんぱん 9
- 葉山町職員募集 11
- 防災の日・防災週間 14

特集1 HAYAMA海の学校 ～海で学ぼう・海から学ぼう～



葉山の海には夢中になるもの・楽しいことがいっぱい！そんな海を舞台に、今年もHAYAMA海の学校が開催されました。

もしもの時に備えた救命講習から各種マリンスポーツ、海にまつわる勉強まで、いろいろな体験を通し、「海で学ぶ、海から学ぶ」ことができました。この特集では、子どもたちが学んだことの一部を紹介します。

＊海の学校プロジェクトとは、小・中学生、その保護者に「海の生態系や環境、マリンスポーツの振興」についてよく知ってもらう・考えてもらうことを目的に2006年2月に始まりました。9月2日には「洋之介ファンフェスタ」を葉山公園・大浜海岸で実施します。詳しくは、「海の学校」でホームページ検索！

サーフィン体験

天候は曇り、そして波が少なく穏やかな海、「これでサーフィンは楽しめるの？」と思った参加者もいたようですが、パドルリングリレーやボードに立つ練習は、穏やかな海だからこそ初心者でも楽しめるものでした。「親子で一緒に海を楽しもう！」がテーマのこの講座、経験者のお父さんに負けないように頑張る子どもたちは気合いたっぷり。数時間の講座でしたが、みんなとっても上達が早いです！

＊パドルリングとは：サーフボードに腹はいいになり、手で水をかいて進むこと



ボディボード体験

まずはスタッフの人にボードを固定してもらいながら練習を重ね、徐々に手を離しても一人で行き乗れるようになり、最後には乗りこなせるように！お友達同士で誰が一番上手かと張り合ったり、兄弟仲良く波に乗って泳いだり、笑顔溢れる体験授業になりました。「今度はもう少し波のある時に、思いつきボディボードを楽しみたい！」と参加した子どもたちは話していました。



シーカヤック・コンパス

葉山の海ってどんなだろう？ 砂浜から少し泳いだ海からはわからなかった「葉山の海」を満喫できるのがシーカヤックです。いつもと雰囲気の違い、葉山の海で、自然を感じてみましょう。そして、もし海の上で迷子になったらどうしよう!?という時に、手軽な物からコンパスを作って方向を知りことも学びました。いつもこのことを忘れず、いざという時にその知識を発揮できるようにしたいですね。



葉山町セーリング協会ジュニアレーシングチームの子どもたちが中心となり、「子どもが子どもに教える」ヨット乗船体験。同年代での交流を通し、ヨットの技術を教わる側だけでなく、教える方も丁寧な説明や楽しんでもらえる教え方を学ぶことができました講座でした。「ヨット発祥の地」と呼ばれる町ならではの学びの形です。今月の表紙も、このヨット乗船体験のクルージングのようすです。

ヨット乗船体験



海で学んだこと・海から学んだこと

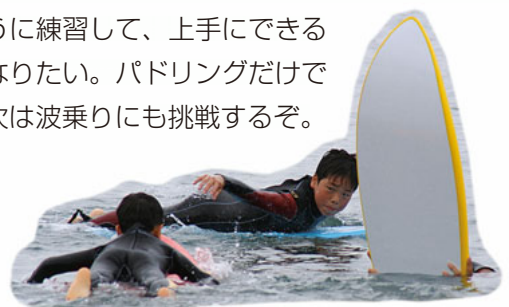


ヨットに乗って見た海は、いつも浜辺で遊んでいる時よりもきれいに感じました。この葉山の海がずっときれいであるように、海を汚さないようにしたい。みんなにもゴミを見つけたら拾うように呼びかけたいな。

心臓マッサージは力がたくさんいるので疲れた。まずは病気やケガで倒れている人がいたら、大きな声で大人を呼ぶのを忘れない。夏休みが終わったら、小学校の中にあるAEDを探してみんなに教えてあげるといい!



サーフィンのパドリングリレーで、相手チームに抜かされたことがとても悔しかった。もっと早くできるように練習して、上手にできるようになりたい。パドリングだけでなく、次は波乗りにも挑戦するぞ。



コンパスを作った時、磁場(じば)の説明を聞いた。磁石のN極が北を指すのは、北極がS極の力を持っているというのだが、何が何だかよくわからない。面白いので調べて、夏休みの自由研究の課題にしてみようと思いました。

